

お客様各位

=====

NS-2250 システムソフトウェア バージョンアップ手順

=====

セイコーソリューションズ株式会社

本資料は、コンソールサーバ SmartCS NS-2250（以後、本装置と略記します）のシステムソフトウェアをバージョンアップする手順を記載しています。

添付のシステムソフトウェアは、NS-2250-16/-16D/-32/-32D/-48/-48D で動作する共通のシステムソフトウェアです。

バージョンアップの手順は「コンソールサーバ NS-2250 取扱説明書」にも記載しております。取扱説明書にはシステムソフトウェアの切り替え方法やコピー、復旧方法についても記載しておりますので、あわせてご覧になった後でバージョンアップを実施してください。

◇ 「NS-2250 取扱説明書」

5 章 管理と保守

5.5 システムソフトウェアの管理

バージョンアップに関する不明点は、販売代理店もしくは下記のお問い合わせ窓口へご相談ください。

【 お問い合わせ窓口 】

セイコーソリューションズ株式会社

TEL: 043-273-3184

バージョンアップ方法について

バージョンアップ作業をはじめるにあたって、以下の点にご留意ください。

- ・本装置のバージョンアップはFTP/TFTP/SFTP を利用して行います。
作業を開始する前に、FTP/TFTP サーバもしくはFTP/SFTP クライアントが動作する端末を準備してください。
- ・バージョンアップ作業には特権ユーザの権限が必要です。

(1) バージョンアップファイルの確認

圧縮ファイル(2250vXX.zip)を解凍すると、下記の3ファイルが展開されます。
バージョンアップファイルはsystem.2250です。

NS2250-Readme-VXX.pdf	-- 本ファイル
NS2250-ReleaseNote-VXX.pdf	-- リリースノート
system.2250	-- バージョンアップファイル(差分)

(2) バージョンアップ領域のクリア

バージョンアップファイルを転送する前に、念のためにバージョンアップ領域をクリアしておきます。

```
(c)NS-2250# verup cleanup↓  
clean up successful  
(c)NS-2250#
```

(3) バージョンアップファイルの転送

下記のいずれの方法でバージョンアップファイルを本装置に転送します。

- ① 本装置の tftp コマンドを使用する方法
- ② 本装置の ftp コマンドを使用する方法
- ③ FTP/SFTP クライアントを使用する方法

① 本装置の tftp コマンドを使用する方法

TFTPサーバにバージョンアップファイルをsystemという名前で保存します。

下記コマンドを実行し、TFTP サーバ(192.168.1.101)からバージョンアップファイルを取得します。

```
(c)NS-2250# tftp get verup system 192.168.1.101↓  
(c)NS-2250#
```

② 本装置の ftp コマンドを使用する方法

FTPサーバにバージョンアップファイルを保存します。

下記コマンドを実行し、FTPサーバ(192.168.1.101)からバージョンアップファイルを取得します。本装置には必ずsystemというファイル名で差分ファイルを保存してください。

FTP送信が失敗した場合は、再度、FTP送信を実行してください。

差分ファイルは必ずバイナリモード送信してください。

```
(c)NS-2250# ftp verup 192.168.1.101↵
Connected to 192.168.1.101 (192.168.1.101).
220 FTP Server ready.
Name (192.168.1.101:user1): user1↵
331 Password required for user1
Password: ↵
230 User user1 logged in.
ftp> hash↵
Hash mark printing on (1024 bytes/hash mark).
ftp> binary↵
200 Type set to I
ftp> get system.2250 system↵
local: system remote: system.2250
227 Entering Passive Mode (192.168.1.101,218,103).
150 Opening BINARY mode data connection for system.2250 (3,910,784bytes)
#####
226 Transfer complete
3271164 bytes received in 0.28 secs (11641.15 Kbytes/sec)
ftp> quit
221 Goodbye.
#
```

③ FTP/SFTP クライアントを使用する方法

本装置にログインして、FTPサーバの起動とアクセス権の設定ならびに工場出荷時に設定されているバージョンアップ専用ユーザ「verup」のパスワードを設定します。バージョンアップ専用ユーザの名前を変更されている場合は、user-idが199のユーザに対して、下記の操作を行ってください。(ユーザ名は、show user コマンドで確認できます)

SSH プロトコルを利用している SFTP クライアントを使用する場合は、「4.6.6 SSH サーバの設定」と「4.6.7 各種サーバのアクセス制限」を参照し、本装置の SSH サーバを設定してください。

```

NS-2250 login: somebody↓
Password:
(c)NS-2250> su↓
Password:
(c)NS-2250# create allowhost all service ftpd↓
(c)NS-2250# enable ftpd↓
(c)NS-2250# set user verup password↓
Changing password for user verup.
New password: _____↓
Retype new password: _____↓
(c)NS-2250#

```

FTP クライアントから本装置にバージョンアップファイルを転送します。
Windows の FTP クライアントでの実行例を以下に記載します。

注意：

ファイル転送中に本装置の電源 OFF や、RESET スイッチを押さないでください。システムソフトウェアが立ち上がらなくなることがあります。通信障害などで転送が失敗した場合には、そのまま再度、ファイル転送を実行してください。

FTP の転送モードは、必ずバイナリモードに切り替えてください。

(ファイルを保存したディレクトリから FTP クライアントを実行します)

```
C:\verup> ftp 192.168.1.1 (< NS-2250 の IP アドレス>)↓
```

```
Connected to 192.168.1.1.
```

```
220 Welcome to FTP service.
```

```
Name (192.168.1.1:none): verup↓
```

```
331 Please specify the password.
```

```
Password: <③で登録したパスワード>↓
```

```
230 Login successful.
```

(バージョンアップファイルのディレクトリに移動します)

```
ftp> cd verupfiles↓
```

```
250 Directory successfully changed.
```

(ファイル転送をバイナリモードに設定します)

(注意！) 必ずバイナリモードで転送してください。

```
ftp> binary↓
```

```
200 Switching to Binary mode.
```

(ファイル転送の状態を表示するハッシュを On にします)

```
ftp> hash↓
```

```
Hash mark printing on (2048 bytes/hash mark).
```

(バージョンアップファイル system.2250 を転送します)

(注意！) 必ず system という名前で転送してください。

```
ftp> put system.2250 system↓
200 PORT command successful. Consider using PASV.
150 Ok to send data.
#####
226 File receive OK.

(FTP を終了します)
ftp> quit↓
C:¥verup>
```

(4) バージョンアップの実行

本装置にログインして、転送したバージョンアップファイルのチェックとバージョンアップをおこなう「verup execute」コマンドを実行してください。

```
(c)NS-2250# verup execute↓
Do you update main-system version [y/n] ? y
Version up file is extracting.
Please wait a few minutes...
verup successful
```

「verup successful」が表示されたら、reboot コマンドを実行して再起動してください。
エラーが表示される場合は、(2)バージョンアップ領域のクリアからやり直して、再度 verup execute コマンドを実行してください。

```
(c)NS-2250# reboot↓
Do you really want to reboot with main system and startup1 [y/n] ? y↓
```

注意：
verup execute コマンドとバージョンアップ実行後の再起動には、多くの時間を要することがあります。本装置が起動するまでは、電源を OFF にしたり、RESET スイッチを押さないでください。システムソフトウェアが立ち上がらなくなることがあります。

telnet でログインしている場合には、再起動するとコネクションが切断されます。
システムソフトウェアが立ち上がるのを待ってから再度ログインしてください。

(5) 確認

本装置が起動した後に「show version」コマンドを実行して、システムソフトウェアが更新されていることを確認してください。

```
(c)NS-2250# show version↓  
System          : System Software Ver X.X (Build XXXX-XX-XX)  
～省略～
```

システムソフトウェアのバージョンがアップしていたら、「show log console」コマンドを実行して、エラーメッセージの有無を確認してください。

(6) システムソフトウェア (backup) のバージョンアップ

バージョンアップしたシステムソフトウェア (main) を、システムソフトウェア (backup) にコピーする場合は、下記の手順を実行してください。

```
(c)NS-2250# copy system main to backup↓  
Do you copy main system to backup system [y/n] ? y↓  
Please wait a few minutes... done.  
copy successful
```

以 上